

わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>

荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

来て! 見て! 体験して! 楽しもう!!

おぎくぼセンター祭

7月23日(土) 10:00～16:00

7月24日(日) 10:00～15:30

子どもからお年寄りまで、みんなが楽しめるものが
いっぱいそろっています!!



折り紙



小千谷市農産物

子ども美術鑑賞教室

- ★模擬店：ソフトドリンク・パン・綿あめ・冷ししろこ、ヨーヨー釣り
焼きそば・かき氷など
- ★舞台パフォーマンス：どじょうすくい・ファッションショー・フラダンス
コーラス・バンド演奏・吹奏楽・日本舞踊・カンツォーネ・神楽など
- ★子ども美術鑑賞教室：ゲーム形式で楽しく美術鑑賞
- ★鉄道模型・昔あそびなど



南伊豆町水産物



親子工作教室



プラネタリウム



スタンプラリー

バルーンアート



会場：荻窪地域区民センター（荻窪2-34-20）電話03-3398-9127 / 主催：荻窪地域区民センター協議会

これからのイベント・講座

6月

- 1日 荻窪地域区民センター「わたしのおぎくぼ」6月7月号発行
- 3日・10日・17日 楽しいラジオ体操
- 8日・15日・22日・29日 大正・昭和に輝いた女流俳人
- 12日 レクリエーションスポーツを楽しむませんか
- 18日 荻窪の記憶①住宅地の誕生
- 19日 大人のワイン講座

7月

- 23日 荻窪地域区民センター「わたしのおぎくぼ」7月号発行
- 26日 荻窪地域区民センター「わたしのおぎくぼ」8月号発行
- 30日 親子で学ぶ昆虫の世界

8月

- 6日 7日 最新線の宇宙研究から宇宙旅行まで
- 14日 戦争の一面面 陸軍登戸研究所
- 21日 親子で作るアロマワックスバー
- 27日 講談鑑賞会

9月

- 2日 輪ふれあいベビークラ
- 7日・14日・21日・28日 みんなのエッセイ塾
- 10日 防災フォーラム(会場：西荻窪地域区民センター)
- 27日 広報紙「わたしのおぎくぼ」10月・11月号発行

10月以降

- 10月16日 本天沼集会所まつり
- 11月12日 荻窪音楽祭「地域ふれあいコンサート」
- 11月29日 広報紙「わたしのおぎくぼ」12月号発行
- 12月11日 荻窪寄席
- 平成29年
- 1月31日 広報紙「わたしのおぎくぼ」2月号発行
- 2月25日・26日 アート展

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て会場は荻窪地域区民センターです。
※問い合わせ先：事業企画部 ● 地域交流部

● 広報部

昨年度は、「ぶらり街歩き」を4回に渡って掲載し、実際に街を歩くことで、地域の文化財や景観を知る楽しさをお伝えしましたが、今号から、「町名の由来と今」をシリーズで掲載します。私たちの住む地域の町名について、その由来や、歴史、そしてその地域の現在の様子を知ることで、地域により一層の親しみを持つことができるのではないのでしょうか。郷土博物館分館学芸員の幸田有美子さんにご執筆いただきます。

地名の歴史と由来/荻窪編

幸田有美子(杉並区立郷土博物館分館)

はじめに

現在、杉並区内には36の町があります。例えば、荻窪地域区民センターの住所「杉並区荻窪二丁目34番20号」では「荻窪二丁目」が町名に当たります。これらの町名は「住居表示制度」により、昭和38年9月1日から整備が始まり、44年11月1日に完了しました。

このシリーズの初回では、まず杉並区内の町名の変遷を追いつながり、皆さんに馴染み深い「荻窪」の町名の歴史と由来をご紹介します。

杉並区の町名

江戸時代中期の杉並区域内には、下図のように20の村がありました。これらの村は天領地と私領地など領主が異なっており、「上荻窪村」は天領地、「下荻窪村」は日枝山王社(千代田区)が領主でした。

明治維新以降は、明治22年の「町村施行」によって各村が合併し、「杉並村」「和田堀内村」「井荻村」「高井戸村」の4村が誕生します。かつての「上荻窪村」と「下荻窪村」は「上井草村」と「下井草村」と一緒になって「井荻村」になりました。

次の大きな変化は大正13年の「町制施行」です。これにより「杉並村」は「杉並町」となり、翌々年に残りの3村も町になりました。そして昭和7年には、杉並区域が属していた豊多摩郡は東京市と合併します。これに伴い4町も東京市に編入され、同年10月1日には4町が合併して「杉並区」が誕生

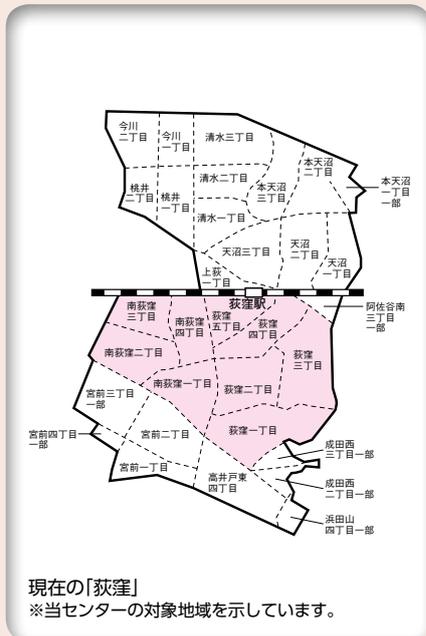
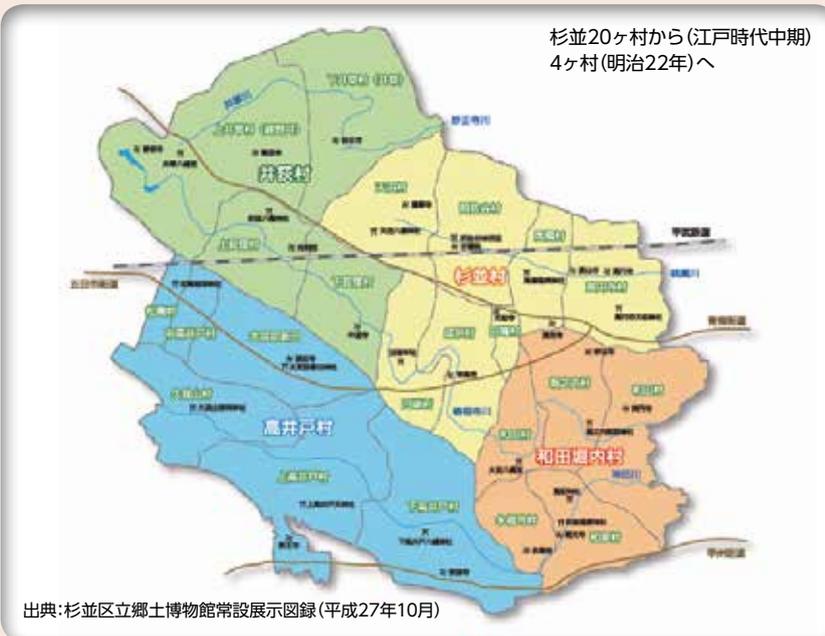
「荻窪」の由来

「荻窪」の名は江戸時代中期頃にあったことが分かります。皆さんもご承知のとおりこの辺りは、荻が多く自生していた低地だったという説が伝えられています。荻にちなんだ事柄としては、荻窪駅近くの光明院(上荻2丁目)の縁起(起源・由来)が挙げられます。光明院の縁起石碑には、和銅元年(708年)に高僧の行基が作った菩薩尊像を背負った行者が、荻の原に差しかかると急に尊像が重くなり歩けなくなったため、この地との縁を信じて野原の荻を集めて堂を建てたと記されています。かつて荻の群生は、この辺りの見慣れた風景の一つだったのでしょう。残念ながら、これ以上の由来は明らかになっていません。

荻はイネ科ススキ属の植物で、その形はススキによく似ています。成長すると2メートル程まで伸び、河川敷などの湿地帯に群生します。おそらく善福寺川沿いなどに群生する風景がこの地名の由来に結び付くのではないのでしょうか。今ではほとんどその姿を見ることができなくなりましたが、郷土博物館本館(大宮一丁目)の古民家裏手や、天沼弁天池公園(天沼三丁目)の池付近で見ることができます。



杉並区立郷土博物館古民家裏手の荻(8月撮影)



ご案内 大人のワイン講座



華井弘子氏

ワインをもっと楽しみませんか？

健康志向の日本人の食生活の中で、ワインはいろいろな食べ物との相性が良いことや、種類も産地も沢山あることで、私たちの生活と深く関わるようになってきました。

ワインコーディネーターの華井弘子氏の解説を聞き、試飲しながらワインの楽しさを味わいましょう。

詳細は、p4の講座案内をご覧ください。



★日時:平成28年6月19日(日) 午後2時～4時 ★場所:荻窪地域区民センター 第1・2集会室

講座報告

石井桃子の「かつら文庫」 ～子どもと本の出会いを願って～



「かつら文庫」の外観

小説『ノンちゃん雲に乗る』や『クマのプーさん』などの翻訳で知られる児童文学者の石井桃子は、戦前から2008年に101歳で亡くなるまで荻窪に住んでいました。その桃子が、子どもと本の出会いの場として、自宅を開放して始めたのが「かつら文庫」です。講座の一日目(3月10日)は、桃子の遺志を継いで「かつら文庫」を運営する「東京子ども図書館」スタッフによる、読み聞かせを交えた講演。二日目(同17日)は、実際に「かつら文庫」(荻窪3丁目37-17)を訪ね、閲覧スペースだけでなく桃子の書斎などを見学。受講者からは、「初めて中に入り、念願が叶った」「石井さんが身近に感じられた」「若いママにも知って欲しい」などの声が聞こえました。



「かつら文庫」での読み聞かせ

●「かつら文庫」の問い合わせ先:「東京子ども図書館」☎03-3565-7711

28年度の定期総会が開催される

5月13日(金)、荻窪地域区民センターで、同センター協議会の平成28年度の総会が開かれました。町会や商店会など地域団体の代表や、都・区議会議員等、約70人が出席され、平成27年度の事業・決算報告と、28年度の事業計画・予算案が承認されました。27年度の活動報告では、プロジェクターを使って写真を見ていただきながら分かりやすく説明しました。

冒頭挨拶した平山会長は、「地域の住環境・人関係を含めて、地域運営が難しくなっている。本年度は多世代が参加できる企画を多く取り上げ、地域団体と連携をさらに広げて、少しでもコミュニティ再建に貢献できるよう努力したい。」と語りました。



協議会の委員(◎:部長, ○:副部長)

役職・所属	氏名	住所
会長	平山 真人	南荻窪
	大庭 成子	天沼
副会長	手代木 扶	荻窪
	光行 博實	荻窪
会計監事 (2名)	竹内すみ代	荻窪
	◎篠 孝春	本天沼
(経理担当) 総務部 (4名)	大庭 成子	天沼
	石川まり子	今川
	鈴木 葉子	宮前
	◎川田 忠通	荻窪
地域交流部 (8名)	○田中 和子	南荻窪
	岡田 一夫	荻窪
	北山 勝彦	荻窪
	佐藤 陽子	本天沼
	中澤 一郎	荻窪
	西森多美子	天沼
	平木 協夫	南荻窪
	◎宇田川 康	荻窪
広報部 (3名)	内藤まゆみ	南荻窪
	齋藤 昭雄	高井戸東
	◎手代木 扶	荻窪
事業企画部 センターカレッジ部 (兼務8名)	加藤 美子	上荻
	柴田 光枝	桃井
	牧 三千夫	荻窪
	松井 和男	荻窪
	武藤 由美	荻窪
	山本 光俊	荻窪
	上池 敏子	本天沼

事務局の職員

役職・所属	氏名
事務局長	大林 俊博
職員	榊田 薫
	石井 明美

講座のご案内

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
荻窪の記憶① 住宅地の誕生	東京を代表する住宅地の一つ荻窪は、いつ、どのように生まれ、そこでは、どのような家庭生活が営まれていたのか。大正、昭和前期の荻窪へ案内します。／幸田有美子(杉並区立郷土博物館学芸員)	6月18日(土) 午後1時30分～ 3時30分	50名	200円	6月5日(日)
大人のワイン講座	ワインの個性や味わいの違いとは…。ワイン種類や作り方、家庭でのワインの楽しみ方、料理とワインの組み合わせなど、試飲をしながら学びます。／華井弘子(ワインコーディネーター)	6月19日(日) 午後2時～4時	30名	1,000円	6月5日(日)
親子で学ぶ昆虫の世界	「脱皮と羽化」をテーマに、昆虫の不思議な世界を解説してもらいます。小学生以上の一人参加可。一枚の往復葉書で親子の申し込み可。／古川紗織(多摩動物公園昆虫園飼育展示係)	7月30日(土) 午後1時30分～ 3時30分	50名	200円 (高校生以下は無料)	7月16日(土)
最前線の宇宙研究から 宇宙旅行まで	1回目は宇宙ヨット“IKAROS”とその巨大な帆をたたんで開く“ミウラ折り”の解説をし、実際に参加者で折り紙を折ってみます。2回目はこれから本格的に始まる宇宙旅行の話「君も行ける宇宙旅行」です。／相馬央令子(JAXA研究員)、高野忠(JAXA元教授)	8月6日(土)・7日(日) 午後1時30分～ 3時30分	40名	200円 (高校生以下は無料)	7月24日(日)
戦争の一断面 —陸軍登戸研究所	現在の明治大学生田キャンパスにかつて存在した陸軍登戸研究所。終戦記念日を前に、風船爆弾、生物兵器、偽札等を秘密裡に開発製造した同研究所の実像に迫ります。／山田朗(明治大学文学部教授)	8月14日(日) 午後1時30分～ 3時30分	50名	200円	7月30日(土)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに〈一人一枚〉 ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④性別 ⑤年齢 ⑥電話番号を明記のうえ
〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 ※申し込み多数の場合は抽選です。

郷土博物館分館 問い合わせ:分館/☎5347-9801

体験コーナー(西棟1階)

「昔のおもちゃで遊ぼう!!」

めんこ・けん玉・おはじき・ビー玉・お手玉・つみきなど、昔の遊び道具で実際に遊べます。

【開催期間】平成28年6月1日～7月中旬



紙芝居定期口演(東棟1階)

杉並の各地に伝わる昔ばなしを紙芝居で楽しみませんか? きっとその地に愛着心が芽生え、新しい発見がありますよ!

【口演日】毎月第1火曜日・第3火曜日(8月はお休みです)

6月7日(火)・18日(土) 10:30～

7月5日(火)・16日(土) 10:30～

雨天中止です。

【共通】

- 場 所:杉並区立郷土博物館分館
(杉並区天沼3-32-1天沼弁天池公園内)
- 開館時間:午前9時～午後5時
- 休館日:毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
- 観覧料:無料
- 問 合 せ:電話03-5347-9801

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の日程

6月28日(火) 13:00～ 会場:第1・2集会室

7月26日(火) 13:00～ 会場:第1・2集会室

※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。

*「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。 FAX番号:3398-9128